

広がるエコ活動の輪

7月21日(土)にフルキャストスタジアム宮城(以下、フルスタ宮城)で開催された「2007 ガリバーオールスターゲーム」で、ボランティアによるごみ分別の案内が実施されました。史上初の試みです。他球団の関係者やファンが訪れたこの日は、フルスタ宮城での『エコ観戦初心者』に向けて環境普及啓発活動(エコプロジェクト)を実施しました。楽天イーグルスのホームゲームにおいて環境活動のサポートをしているMELONもお手伝いさせていただきました。

オールスターゲームにおいてこの活動が行われることになったそもそものきっかけは、1月25日(木)にフルスタ宮城で行われたプロ野球球場会議(12球団の球場運営会社が情報交換する会議)の場で、MELONが楽天イーグルスのエコ活動の取り組みを発表したことでした。出席していたプロ野球コミッショナー事務局の総務部長が、オールスターでも同様に取り組むことを提案してくれたのです。



大好評だったPRブースの展示



熱心に質問し、メモをとる親子



普及啓発映像「みんなでつくろうエコスタジアム」
Supported by MELON

当日は、球場の正面にテントを設置していただき「環境活動のPRブース」を立ち上げました。球場ではどんなふうに分別しているのか、分別した資源が何にリサイクルされるのか、現物を展示して一人ひとりに説明しました。展示パネルや表示は、お客様にどうしたらわかっていただけるか意見を出し合いながらボランティアさんが製作したものです。皆さんの豊富なアイデアのおかげでわかりやすく見ごたえのあるブースができました。

楽天野球団の環境の取り組みを夏休みの自由研究にしたいと、ブースに小学生が母親と訪れ、対応するスタッフにたくさんの質問をなげかける一幕もありました。活動に関心を寄せてくれる親子がいたことは、スタッフ一同を大いに勇気付けてくれました。もちろん、楽天イーグルス以外のユニフォームを着たファンも多数訪れて、エコ活動の取り組みを紹介するパネルを感心した様子で眺めていました。他球場の関係者も訪れ、「我々の球場でも環境について取り組もうと思っている」とブースの様子を熱心に写真におさめていました。楽天野球団の取り組みが確実に全国に広がっていることを実感しました。楽天野球団のエコ活動がほかのスタジアムにも広がってくれればうれしいですね。

MELONはこの他に、バックスクリーンのビジョンで放映する普及啓発映像の作成を担当させていただきました。ファンにエコステーションでのごみ分別を呼びかける映像です。この日にお目見えした普及啓発映像は、最終戦までフルスタ宮城のビジョンで放映されました。来シーズンもエコ活動は続きますので皆さんご協力をよろしくお願いします。